

2026 年（令和 8 年度）

市原野学区自主防災会

総 会 資 料

- 議 案：
1. 令和 7 年度事業報告および令和 8 年度事業計画
 2. 令和 8 年度自主防災会組織について
 3. その他

別紙

- ・市原野学区自主防災会規約
- ・役員名簿 連絡網

下記の LINE 公式アカウントにぜひとも、お友だち登録をお願いいたします。



市原野学区自主防災会

LINE 公式アカウント

2023年11月1日開設



この度、「市原野学区自主防災会」の情報発信用に
LINE 公式アカウントをつくりました！
「お友だち登録」をよろしくお願いします



♪お友達追加用QRコード



◎友だち登録の方法

方法①：[LINE]>🏠[ホーム]>👤+[友だち追加]>[QRコード]より
右のQRコードを読み取って登録します。

方法②：スマホの[カメラ]機能より右のQRコードを読み取って登録します。

2025（令和7）年度 事業報告

- 04 月 25 日 左京区防災関連事業に係わる説明会（区役所）
- 05 月 18 日 左京消防団総合査閲（精華大学）
- 06 月 14 日 左京区自主防災会総会（区役所）
- 06 月 21 日 学区自主防災会総会（会館）
- 09 月 21 日 京都市市民防災センター研修（南区）〈参加者 35 名〉
- 09 月 30 日 避難所運営に係わる意見交換会（区役所）〈市原野・大原・鞍馬・静原〉
- 11 月 01 日 京都市総合防災訓練（岡崎エリア）
- 11 月 22 日 自主防災訓練説明会（会館）
- 11 月 30 日 左京区総合防災訓練（区役所）
- 12 月 07 日 学区総合防災訓練（小学校・精華大学）
- 12 月 15 日 市民対話会議（マンガミュージアム）
- 12 月 16 日 社協タイアップ事業・高齢者マップ作製会議（会館）
- 12 月 20～31 日 消防団年末特別警戒激励（静市交番・会館）
- 01 月 11 日 京都市消防出初式（岡崎エリア）
- 01 月 25 日 消防分団出初式（市原学区内）
- 02 月 12 日 松ヶ崎学区地区防災計画報告会（区役所）
- 02 月 17 日 防災無線運用訓練（区役所→会館）
- 03 月 14 日 自主防災会研修会（会館）
- LINE アカウント事業 482 名
- 自主防災組織活動助成金申請 ￥50,000-
- その他 他関連事業参加及び活動多数
- 防災備蓄品の納入：段ボールベット 10 台・間仕切りテント 10 台・飲料水 5 ケース
トイレ凝固剤 4 ケース

2025（令和7）年度 通常会計決算報告

【収入の部】

	項 目	予 算	決 算	摘 要
1	前年度繰越金	1,288,320	1,288,320	
2	会 費	261,600	259,600	200 円×1,298 世帯
3	助 成 金	60,000	60,000	自治連一般会計より
4	活動推進助成金	50,000	50,000	京都市消防局より
5	研 修 参 加 費	0	0	
6	防災訓練賛助金	0	0	
7	雑 収 入	0	5,874	防災旗立替分、利息
	合 計	1,659,920	1,663,794	

【支出の部】

	項 目	予 算	決 算	摘 要
1	訓 練 費	150,000	109,475	防災センター研修貸切バス代等
2	総 務 費	70,000	94,200	LINE アカウント費、防災訓練保険代
3	事 務 費	30,000	18,028	資料印刷費、自主防連合会会費等
4	事業基金(積立)	50,000	50,000	自主防災事業基金へ
5	災害非常時対策費	250,000	9,900	防災旗購入（美土里町、橋ノ本町）
6	予 備 費	1,109,920	0	
7	次年度繰越金	0	1,382,191	
	合 計	1,659,920	1,663,794	

事業基金決算（災害時対策積立）

【収入の部】

	項 目	前年度決算	本年度予算	摘 要
1	前年度繰越金	893,278	893,278	
2	本年度積立金	50,000	50,000	自主防災通常会計から
3	雑 収 入	0	699	利息
	合 計	943,278	943,977	

【支出の部】

	項 目	前年度決算	本年度予算	摘 要
1	事 業 費	0	0	
2	次年度繰越金	943,278	943,977	
	合 計	943,278	943,977	

2026（令和 8）年度 事業計画

■ 例年事業（市・区）

- 左京区防災関連事業等説明会 5 月 12 日（火）
- 左京消防団総合査閲 5 月 24 日（日）
- 避難所運営マニュアル研修会 6 月 23 日
- 左京区自主防災会連合会定期総会 7 月 5 日
- 京都市総合防災訓練 11 月初旬
- 左京区総合防災訓練 11 月下旬から 12 月初旬
- 京都市消防出初式参加 1 月 10 日（日）

■ 学区取り組み

- 市原野学区自主防災会総会 6 月 20 日（土）
- 京都市市民防災センター研修 予定
- 市原野学区防災訓練 予定
- 市原野学区防災訓練のまとめと報告会 予定

■ その他

- 避難所開設と関係機関との連携
- LINE アカウントの登録の推進・活用 482 名
- 補助金交付手続き（左京区役所・消防局）
- 防災活動の推進

2026（令和8）年度 通常会計予算

【収入の部】

	項 目	前年度決算	本年度予算	摘 要
1	前年度繰越金	1,288,320	1,382,191	
2	会 費	259,600	256,400	200 円×1,282 世帯
3	助 成 金	60,000	60,000	自治連一般会計より
4	活動推進助成金	50,000	50,000	京都市消防局より
5	研 修 参 加 費	0	0	
6	防災訓練賛助金	0	0	
7	雑 収 入	5,874	0	利息
	合 計	1,663,794	1,748,591	

【支出の部】

	項 目	前年度決算	本年度予算	摘 要
1	訓 練 費	109,475	200,000	防災訓練、見学研修会等
2	総 務 費	94,200	100,000	LINE アカウント費、出初式交通費
3	事 務 費	18,028	30,000	印刷費
4	事業基金(積立)	50,000	50,000	自主防災事業基金へ
5	災害非常時対策費	9,900	250,000	防災用品等備蓄、避難所開設経費
6	予 備 費	0	1,118,591	
7	次年度繰越金	1,382,191	0	
	合 計	1,663,794	1,748,591	

事業基金予算（災害時対策積立）

【収入の部】

	項 目	前年度決算	本年度予算	摘 要
1	前年度繰越金	893,278	943,278	
2	本年度積立金	50,000	50,000	自主防災通常会計から
3	雑 収 入	699	0	利息
	合 計	943,977	993,278	

【支出の部】

	項 目	前年度決算	本年度予算	摘 要
1	事 業 費	0	0	
2	次年度繰越金	943,977	993,278	
	合 計	943,977	993,278	

●令和7年度 市原野学区総合防災訓練の実施について

日時：令和7年12月7日（日） 午前9時発災想定

場所：各单位自治会の「地域の集合場所」

北部（篠坂町・東篠坂町より以北）は、市原野小学校

南部（市原南町から以南）は、京都精華大学

初!! 2か所にて同時訓練実施

内容：「地域の集合場所」にて集合訓練後、地域を南北にわけてそれぞれ体育館内にて
避難所設置・レイアウト訓練

目的：初動対応の確認

⇒「地域の集合場所」に向かい自助共助の意識確認

① 町内や地域によって集合までの時間の差があるので、順次対応

⇒車イス等、障がいを持った方への対応（区社協訓練・小学校のみ）

② 避難所開設における市原野学区でのベッドやトイレの確認

⇒自分たちで組み立ててみる、確かめる

③ 手軽に始める防災 100均防災グッズコーナー

④ 危ないよマップにて避難経路の危険箇所把握をチェックしよう！

⑤ 防災クイズ

⑥ 自主防災LINEの活用

⇒今回体育館にて実施のため、「スリッパ」or「上靴」持参を連絡する
忘れた人用に、新聞紙でスリッパ作成教室

～レイアウトのポイント～

- ・避難が始まると天候や季節により、長時間待てない方もおられますので、分担して手際よく 行いましょう。
- ・10名程度を目安に、協力を得てレイアウトづくりを行います。
- ・運営に必要な箇所や必要なスペースを割り振り、利用範囲を決めます。
- ・立入禁止区域や、危険箇所等にロープを張ったり貼り紙をします。
- ・みんなが活動しやすい場所に、通路をつくる
- ・プライバシーを配慮、男女別更衣室
- ・みんなに情報が行き届くように、掲示板や看板を見えやすいところに
- ・トイレが使いやすいように、要配慮者は通路側のスペースに

※ほかに、どんなことに注意したらよいか、考えてみましょう

市原野防災支え合いははじめの一步

災害時の支え合いにつながる地域の「つながり」づくりの推進

～ 障がいのある方の防災訓練参加の促進 ～

(京都市左京区社会福祉協議会)

目 的：普段の地域の暮らしのなかで、顔をあわせる、支え合える関係を少しづつ築いていくことで災害時の支え合いが実行できる。

① 当事者と支援者

障がいのある方に地域の防災訓練への参加者呼び掛け、日常の（支え合い）の啓発。

② 住民

地域の防災訓練で障がいのある方と出会い、障がいについて知り、防災に向けて地域の暮らしの中での支え合いを意識できるようになる。

内 容：① 障がいのある方と支援者２種類のビブスにて訓練に参加。

該当する方には任意で着用する。

② 防災訓練参加者の中で支え合いプロジェクトに賛同しサポートしていただける方を募集する。

実施報告：① 事業参加者 １３名 サポートされる方２名

サポートする方１１名

② 希望されるサポート ハートマーク/大きな声が苦手です
聴覚障害

③ 可能なサポート 英語通訳１名

福祉関係者１名

移動介助１名

介護士１名

看護師１名

筆談１名

車いす介助、手引き１名

介護予防推進

手話通訳２名

視覚障がい者サポート

はじめの一步 地域力は防災力

いちばん大事なこと 生きること・助けあうこと

① 自主防災会とは・・・

もしもの時に備え、地域住民が連帯し協力することによって、災害被害を最小限にとどめることを目的に結成された組織です。

② 自主防災とは・・・

災害予防および災害時の応急対策を地域住民が主体となって行うことです。
「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えのもと、自発的に初期消火・救出・救護・集団避難などの防災活動の取り組み。

③ 自助共助とは・・・

自助とは、自分自身の安全を守ること

共助とは、地域やコミュニティの周囲の人達が協力して助け合うことです

「自分の命は自分で守る、その助かった命で他の人を守る」

これが自助共助の基本的な考えです。

④ まずは地域の集合場所への意味・・・

地域の集合場所に行ける＝生きていることの確認につながります

⑤ 自分で判断できる能力とは・・・

自身で見極めをする 避難するかしないか

⑥ 早めの行動とは・・・

自分で出来る情報収集 助けを求める勇気 避難をする勇気

⑦ 家庭で出来る防災とは・・・

家族の対話 非常持ち出しバックの準備 食料の備蓄

⑧ ご近所で出来る防災とは・・・

安否確認 避難経路 危険な箇所 向こう三軒両隣の付き合い

⑨ 避難所生活とは・・・

平等では無い ガマンがいっぱい

※ 学区自主防災会として

※ 単位町内会防災部として

★ スーパーサブの存在を見つける (協力者)

2026 年（令和 8 年）の主な地震活動

① 1 月 6 日：島根県東部

M6.4、最大震度 5 強。発生後も M5 を超える地震が続き、1 月中に震度 1 以上の地震が 58 回観測されました。

② 4 月 1 日：茨城県南部

M5.0、最大震度 5 弱。フィリピン海プレートと陸のプレートの境界付近で発生した地震とされています。

③ 4 月 18 日：長野県北部

M5.0 および M5.1、最大震度 5 強。4 月中に震度 1 以上の地震が 37 回観測されました。

④ 4 月 20 日：三陸沖

M7.7、最大震度 5 強。津波が観測され、北海道から東北地方の太平洋沿岸を中心に影響がありました。

⑤ 4 月 27 日：十勝地方南部

M6.2、最大震度 5 強。北海道周辺で強い揺れを観測しました。

⑥ 5 月 2 日 18 時 30 分：奈良・三重・和歌山地方にて地震 京都でも震度で 3 発生携帯にて警報が鳴る

⑦ 6 月 16 日：茨城県南部

M5.5、最大震度 5 弱。直近の強い地震として関東周辺で揺れが観測されました。

今年の傾向 2026 年は、1 月の島根県東部、4 月の三陸沖・十勝地方南部・長野県北部など、震度 5 弱以上の地震が複数発生しています。特に 4 月は規模の大きい地震が続き、津波を伴う地震も発生したことから、防災上注意すべき年といえます。

防災上のポイント

- ・ 強い揺れの後には、同程度の地震や余震に注意する。
- ・ 津波を伴う可能性がある地震では、沿岸部ではすぐ高い場所へ避難する。
- ・ 家具固定、非常用品、避難経路、家族との連絡方法を確認する。
- ・ SNS の不確かな情報ではなく、気象庁や自治体の発表を確認する。